

聴覚障害学生支援に関する実践共有セッション 2025
視覚障害者用テキストデータ作成の手引き

【作成の目的】

資料のテキストデータとは、視覚効果を排してシンプルな文字列にしたもので、視覚障害者がスクリーンリーダーで読み込むことで、内容を把握することができます。本シンポジウムは、毎年視覚障害者にもご参加いただいております。資料のテキストデータを作成しております。

このうち本企画のために皆様に作成いただいたポスターにつきましては、本来の意図を伝えることができるよう、発表者ご自身でテキストデータを作成いただき、提出をお願いしております。ご提供いただいたテキストデータは、希望する参加者に事前に送付するほか、シンポジウム終了後、PEPNet-Japan ウェブサイトの資料ダウンロードページに掲載いたします。

お手数をおかけいたしますが、アクセシビリティ向上のため、ご協力の程よろしくお願いいたします。

【テキストの作り方(Windows の場合)】

① 元になるテキストを作成する

PDF ファイルの場合、「ファイル」→「書き出し形式」→「テキスト(アクセシブル)」を選択すると、メモ帳が起動し、おおざっぱなテキストファイルになります。この段階では、文章の一部欠落や、本来あるべきではない位置での改行が起きています。必ずもとのファイルと見比べ、文字や文章を足してください。

② 写真・図・イラストをテキスト化する

①でテキスト化されなかった写真や図、イラスト等について、内容を説明する文章を追記する。

＜例＞ 写真:10 名ほどの学生が楽しそう手話で話す様子

③ 以下のルールに従ってテキストを整え、状況説明が不足している場合は追記する。

- ・トピックスの先頭に■を挿入する。
- ・トピックスが変わるときは空行を挿入する。
- ・写真、図、イラストに関する説明文について、本文と区別しにくい場合は()でくる。

※このルールは、PEPNet-Japan シンポジウムについてのみ適用するものです。各大学において視覚障害学生への支援としてテキストデータを作成される場合は、学生のニーズを把握し、ニーズに沿ったルールを確認してください。

④ 全体を通して見直し、完成したらテキスト形式(.txt)で保存する。

⑤ PEPNet-Japan 事務局(sympo2025@pepnet-j.org)に送付する。

締切:2025 年 9 月 17 日(火)